

報道関係各位
企画展のご案内

高志の国
文学館
KOSHINOOKUNI
MUSEUM OF LITERATURE

富山新聞復刊80年記念

書家・金澤翔子

響き合ふ書と文学展

2026
6月20日(土)～8月31日(月)

◆開館時間

9:30～18:00

(観覧受付は17:30まで)※6月20日(土)は10:40開場

◆休館日

毎週火曜日(ただし8月11日は開館)、
8月12日(水)

◆観覧料

一般500円(400円)、
大学生250円(200円)、
前売り・一般400円

※()内は20人以上の団体料金。企画展
観覧券で常設展もご覧いただけます。
※次の方は、常設展・企画展ともに無料で
観覧できます。小・中・高校生及びこれに準
ずる方、各種障がい者手帳をお持ちの方。

主催/高志の国文学館、富山新聞、
北國新聞社

共催/富山テレビ放送

特別協力/株式会社アトリエ翔子
企画協力/香希画廊

金澤翔子・書「雨ニモマケズ」(香希画廊蔵) ©アトリエ翔子

展覧会チラシ

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 今村・小竹・綿引
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

書は言霊となり、文学のことばと静かに響き合う

日本を代表する書家の一人として活躍する金澤翔子（1985～）。翔子の書は、文字の意味や書の技法を大切にしながら、愛や想い、祈り、幸せがにじみ出るような表現が特徴です。ことばのひとつひとつにこめた思いは、言霊となって観る人の心へ静かに届きます。

本展では、10歳の時に書いた般若心経から、「愛」「夢」「抱擁」などのことばが心にまっすぐに届く額装作品、「両忘」「龍翔鳳舞」などの迫力ある屏風作品、「月に吠える」などの文学を題材にした作品、大河ドラマの題字などの話題作、近年のアート作品まで、金澤翔子の多彩な書の魅力が詰まった作品を厳選して展示します。文学館を舞台に、金澤翔子の書と文学のことばが響き合う世界をどうぞお楽しみください。

Profile

金澤翔子 KANAZAWA SHOKO (1985～)

書家。5歳の時に書家である母・泰子に師事し書を始める。伊勢神宮や東大寺など神社仏閣の総本山や大本山にて奉納揮毫個展を開催。国内有名美術館のほか、ニューヨークやロンドンなど世界各地で個展や公演を開催し大きな反響を呼ぶ。ローマ教皇来日の際にはバチカン市国に大作『祈』を寄贈。また、上皇陛下が天皇御在位中に天皇御製を担当し謹書。近年では、東京オリンピック公式アートポスター制作や、NHK大河ドラマ「平清盛」の題字担当、ニューヨーク国連本部での日本代表スピーチなど多岐にわたり活躍している。自身の代表作『共に生きる』を合言葉に、共生社会の実現に向けた活動にも継続的に取り組んでいる。

《受章歴・肩書》

文部科学省スペシャルサポート大使、神奈川県「ともに生きる社会かながわ憲章」応援大使、いわき応援大使、榎葉町アンバサダー、東京タワー文化大使 2013年 紺綬褒章を受章。

■公式ホームページ <https://k-shoko.org/>

■Instagram <https://www.instagram.com/shoko.kanazawa/>

Outline

展覧会名	富山新聞復刊80年記念「書家・金澤翔子—響き合う書と文学 展」
会 期	令和8年（2026）6月20日（土）～8月31日（月）
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は17：30まで） ※6月20日（土）は10：40開場
休 館 日	毎週火曜日（ただし8月11日は開館）、8月12日（水）
観 覧 料	一般500円（400円）、大学生250円（200円）、前売り・一般400円 ※（ ）内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障がい者手帳をお持ちの方は無料。 ※前売り券のお求めは高志の国文学館、アーツナビで。文学館受付にてチケットに引き換えます。
主 催	高志の国文学館、富山新聞、北國新聞社
共 催	富山テレビ放送
特別協力	株式会社アトリエ翔子
企画協力	香希画廊
展覧会担当	高志の国文学館 事業課 副主幹 綿引香織（わたひき かおり）

Theme

導入展示

席上揮毫作品のほか、金澤泰子・翔子の共著、プロフィール、写真などによりこれまでの作家活動を紹介

祈りの章

「両忘」「龍翔鳳舞」「十歳の般若心経」「蘭亭序」などの、代表的な屏風作品を展示

幸福の章

「愛」「夢」「飛翔」などの、親しみやすいことばによる額装作品を展示

共鳴の章

「月に吠える」「雨ニモマケズ」などの文学を題材にした作品を展示

希望の章

「雲」「環」などの、近年取り組んでいるアート作品を展示

繋がり

東京 2020 公式アートポスター、大河ドラマの題字などの話題作を展示

Topics

1 北陸初の大規模な展覧会

国内外で活躍する書家・金澤翔子の、愛や想い、祈り、幸せがにじみ出るような作品を通して、書に親しむ人にも、初めて書にふれる人にも書の魅力を伝える企画展を開催します。北陸ではこれまでにない大規模な金澤翔子展となります。

2 多彩な作品世界を紹介

会場には、「十歳の般若心経」「龍翔鳳舞」「共に生きる」などの代表作、東京 2020 公式アートポスター原画、大河ドラマ題字などの話題作から、近年のアート作品まで、多彩な作品が並びます。書家・金澤翔子の、見る人の心に響く作品世界の魅力に迫ります。

3 活動の軌跡を紹介

5歳で書を始めてから現在に至るまでの作家活動の軌跡と日常の一端を、写真により紹介。翔子を見守り、共に歩んできた母・泰子との二人三脚の歩みをお伝えします。

4 文学館ならではの展示

文学に材を得た作品と、その原作となった詩や小説をあわせて展示し、文学と書の交響をお届けします。また、随筆家でもある母泰子のことばを通じて、作品の背景についても紹介します。

5 魅力的な関連イベントの開催

開会式の日には、金澤翔子による席上揮毫を行います。ことばにこめた思いが書となり言霊となるその瞬間を、ご一緒にご体験ください。同日午後には金澤泰子、翔子、室井滋館長による記念鼎談を開催します。

7月には、香希画廊代表取締役・宮島香世氏による講演会を開催します。

Events

(1) 金澤翔子席上揮毫

[出演] 金澤 翔子

[日時] 6月20日(土) 11:30~12:00

[会場] 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員/150名 ◎参加無料

※申し込みが130名を超える場合は、当館ライブラリーコーナーで、揮毫映像をモニター画面でご覧いただきます(約20席)。

(2) 記念鼎談「翔子と母・泰子—魂の書誕生物語」

[講師] 金澤 泰子

金澤 翔子

室井滋(当館館長)

[日時] 6月20日(土) 14:00~15:30

[会場] 当館 ライブラリーコーナー

◎申込必要 ◎定員/150名 ◎参加無料

(3) 講演「書之美 金澤翔子の世界」(仮)

[講師] 宮島香世(有限会社香希画廊 代表取締役)

[日時] 7月12日(日) 14:00~15:30

[会場] 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員/72名 ◎参加無料

(4) 担当学芸員によるギャラリートーク(展示解説)

[日時] 7月11日(土)、8月9日(日)、8月30日(日)
各回 14:00~(約30分)

[会場] 当館 企画展示室

◎申込不要 ◎要観覧券

■関連イベント申込方法

電話・WEB 申込フォームにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を高志の国文学館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。



<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=7oMj81o>

Highlight

■主な出品作品および資料

- ・ 金澤翔子書「言霊」 2014年 四曲一隻屏風 180×360cm (★)
- ・ 金澤翔子書「龍翔鳳舞」 2015年 四曲一双屏風 各180×360cm (★)
- ・ 金澤翔子書「両忘」 2012年 四曲一隻屏風 180×360cm (★)
- ・ 金澤翔子書「共に生きる」 2011年 四曲一隻屏風 180×360cm (★)
- ・ 金澤翔子書「十歳の般若心経」 1995年 二曲一隻屏風 180×180cm (★)
- ・ 金澤翔子書「蘭亭序」 2015年 四曲一隻屏風 180×340cm (★)
- ・ 金澤翔子書「愛」 2025年 額装 34×34cm (★)
- ・ 金澤翔子書「抱擁」 2015年 額装 34×64cm (★)
- ・ 金澤翔子書「月光」 2025年 額装 100×35cm (★)
- ・ 金澤翔子書「飛翔」 2026年 額装 35×68cm (★)
- ・ 金澤翔子書「夢」 2025年 額装 39×34cm (★)
- ・ 金澤翔子書「明るい方へ」 2021年 パネル 47×177cm (★)
- ・ 金澤翔子書「美しき心」 2021年 パネル 48×178cm (★)
- ・ 金澤翔子書「雨ニモマケズ」 2012年 パネル 99×181cm (香希画廊蔵)
- ・ 金澤翔子書「月に吠える」 2009年 パネル 98.5×44.5cm (★)
- ・ 萩原朔太郎『月に吠える』 1917年 感情詩社・白日社出版部 (高志の国文学館蔵)
- ・ 金澤翔子書「風立ちぬ」 2013年 パネル 69×68cm (★)
- ・ 堀辰雄『風立ちぬ』 1938年 野田書房 (高志の国文学館蔵)
- ・ 金澤翔子書「雲」 2025年 パネル 73×103cm (★)
- ・ 金澤翔子書「龍」 2025年 パネル 73×99cm (★)
- ・ 金澤翔子書「環(交わる永遠)」 2025年 パネル、額装 73×70cm (★)
- ・ 金澤翔子書「翔 TOKYO」(東京2020公式アートポスター原画) 2019年 額装 95×72.5cm (★)
- ・ 金澤翔子書「上皇陛下御製(天皇御在位中)」 2013年 額装 61.5×93cm (★)
- ・ 金澤翔子書「平清盛」(大河ドラマ題字) 2011年 額装 35×140cm (★)
- ・ 愛用の筆 一式 (★)

など 資料総数 約53点

※★はすべてアトリエ翔子蔵

Images



1 展覧会チラシ



2 金澤翔子
©アトリエ翔子



3 金澤翔子書「両忘」
(アトリエ翔子蔵)



4 金澤翔子書「言霊」
(アトリエ翔子蔵)



5 金澤翔子書「蘭亭序」
(アトリエ翔子蔵)



6 金澤翔子書「月に吠える」
(アトリエ翔子蔵)



7 帝国ホテル「蘭の間」
での揮毫
©アトリエ翔子

富山新聞復刊 80 年記念
「書家・金澤翔子—響き合う書と文学 展」(仮称)
広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490
E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。
- ◎画像には、必ずキャプションを付記してください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像 (ご希望の画像をチェックしてください。)

- 画像 1 展覧会チラシ
- 画像 2 金澤翔子 ◎アトリエ翔子
- 画像 3 金澤翔子書「両忘」(アトリエ翔子蔵)
- 画像 4 金澤翔子書「言霊」(アトリエ翔子蔵)
- 画像 5 金澤翔子書「蘭亭序」(アトリエ翔子蔵)
- 画像 6 金澤翔子書「月に吠える」(アトリエ翔子蔵)
- 画像 7 帝国ホテル「蘭の間」での揮毫 ◎アトリエ翔子